

### Ⅲ 一般会計当初予算の特徴

#### 1 予算編成の基本的な考え方

令和4年度一般会計予算では、感染症の予防、感染拡大の防止を図るための体制を継続するとともに、令和3年度補正予算と一体として、3回目のワクチン接種をできる限り前倒し、接種の速度を上げていくなど新型コロナウイルス対策に万全を期してまいります。同時に厳しい状況におかれた地域経済の回復、市民生活の立て直しにもしっかりと取り組んでまいります。

横須賀市は、人口減少や高齢化に伴う社会保障費の増加などに伴って多くの財政的な課題に直面していますが、横須賀再興プランの計画初年度として、確実な一步を踏み出すために、事業や人員の見直し、国県からの補助金はもちろんのこと、民間企業とも連携し、あらゆる手段で財源確保を図ってまいります。

地域に根差す人々をしっかりと支え、にぎわいや活気を取り戻し、経済を再興させることで増加した税収を福祉へ投入する。こうした循環を途絶えさせることなく、さらに好ましい連鎖の流れを広げ、より一層の大きな循環をもたらすような、未来に向けた投資を行っていくことを念頭に、以下のとおり令和4年度予算を編成しました。

#### 【基本方針】

##### (1) 「横須賀再興プラン」に基づく積極投資

令和4年度は「横須賀再興プラン」の計画初年度として、確実な一步を踏み出す重要な年です。

横須賀市の特性を生かした3つのまちづくりの方向性を全ての分野にわたり常に意識した上で、5つの最重点施策に沿った事業に財源を重点配分します。

##### (2) 将来に向けた先行投資

再興プランに示すまちづくりの方向性に沿って、長期的なスパンで効果が期待できる事業に対する先行投資には積極的な財源配分を行います。

また、社会情勢の変化に対応するとともに、従来のやり方を根本から見直すデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）を推進し、市民サービスの向上、業務の効率化を図っていきます。

## 【積極投資のための財源確保】

厳しい財政状況下において、地域経済の回復、市民生活の立て直しに取り組んでいくとともに、再興プランに掲げる事業を積極的に推進するため、以下の方策で財源確保を図っていきます。

- (1) 徹底した行財政改革の推進
- (2) FM戦略プラン等の着実な推進
- (3) 国や県などからの財源の獲得
- (4) 決算ベースの編成

## 【基本姿勢】

- (1) 目的を明確化した積極的な事業立案
- (2) 広い視野に立った課題解決
- (3) 時代の変化に合わせた取り組み

## 2 令和4年度当初予算の状況（一般会計）

### （1）予算規模

区 分	令和3年度 当初予算額(A)	令和4年度 当初予算額(B)	増 減 額 (B) - (A)	伸 率
予算規模	1,595億1,000万円	1,574億5,000万円	△20億6,000万円	△1.3%

### （2）歳出

- 主な減少要因は、業務見直しなどによる人件費（約3億円）の減をはじめとする内部管理経費の徹底した削減のほか、新型コロナウイルスワクチン接種経費約26億円皆減、給食センター建設の完了により約17億円皆減したことによるものです。
- 主な増加要因は、新型コロナウイルス感染症の検査体制や療養支援体制の確保のための経費（約4億円）、生活に困っている人や障害者の支援にかかる経費および保育が必要な子どもを預かるための経費（約5億円）、高齢化の進展に伴う後期高齢者医療費や介護保険に対する負担（約4億円）、中学校完全給食の通年化に伴う運営経費（約4億円）、エコミルの運営管理費（約4億円）、エコミル建設で借り入れた市債および臨時財政対策債の償還開始などによる公債費（約8億円）が増加したことによるものです。

### （3）歳入

- コロナ禍で落ち込んだ経済が回復傾向にあることなどから市税等が約36億円増加しましたがコロナ前の水準に戻ってはいません。
- 市税等の増加に伴い地方交付税と臨時財政対策債が合わせて約17億円、地方特例交付金は約12億円減少しました。

### （4）財源不足額（基金取り崩し額）

一般会計の財源不足を補填する財政調整基金からの取り崩しは、これまでで最も少なかった令和3年度当初予算と同額の38億5,000万円に抑えました。

(基金取り崩し額 (財源不足額) の比較)

区 分	令和3年度 当初予算額 での取崩額 (A)	令和4年度 当初予算額 での取崩額 (B)	増減額 (B) - (A)	(参考) 令和4年度末 基金残高見込 (※)
財政調整基金	38.5億円	38.5億円	0	52.1億円

※R3末残高 (最終補正後) 90.6億円 - R4取崩額 38.5億円 = R4末残高見込 52.1億円

(基金繰入金 (当初予算) の推移)

(単位: 億円)

H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
39.9	71.4	75.4	58.4	99.4	73.8	71.0	59.7	49.4
H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
48.0	45.4	46.7	49.6	54.5	60.0	59.5	61.7	41.9
R1	R2	R3	R4					
56.3	52.2	38.5	38.5					

(5) 市債残高 (全会計)

(単位: 億円)

会 計 名	令和2年度末 残高	令和3年度末 残高見込み	令和4年度末 残高見込み	R4-R3 比較増 (△) 減
一 般 会 計	1,858	1,920	1,892	△28
通 常 債	1,024	1,065	1,074	9
臨時財政対策債等	834	855	818	△37
母子父子寡婦 福祉資金貸付	5	5	5	0
水道事業	180	185	187	2
下水道事業	776	766	736	△30
病院事業	41	39	50	11
合 計	2,861	2,915	2,870	△45

\*端数処理のため、合計が表示と合わない場合があります。

### 3 積極投資のための財源確保

厳しい財政状況下において必要な施策にはしっかりと投資していくため、以下の方策で財源確保を図ります。

#### (1) 「事業等の見直し」による財源不足額の削減

(単位：百万円)

年 度	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	合 計
削減額	△728	△401	△973	△122	△2,224

※R4 (2022) は当初予算への反映額、R5 (2023) 以降は計画額です。

#### (2) 国や県などからの財源の獲得 (令和4年度予算で新たに財源を活用した主な事業)

##### ①国・県補助金等 691,657千円

受診状況管理のための健診システムの更新	24,031千円
久里浜西口栄通りの歩道拡幅整備	7,150千円
VR技術を活用した3Dマップの作成	4,613千円
BMXフリースタイルジャパンカップの誘致	3,750千円
コロナ臨時交付金の活用	652,363千円
・ I C タグによる図書館の利便性向上	131,508千円
・ 小中学校への I C T 支援員の配置	60,885千円
・ よこすか開国祭開国花火大会の開催	60,300千円
・ 防災DXによる災害対応力強化と早期避難の促進	50,620千円
・ その他	349,050千円

##### ②企業版ふるさと納税 100,000千円

久里浜地域にぎわいづくりや学校巡回スポーツキャラバンの実施	100,000千円
-------------------------------	-----------